

特別活動

1 教育課程研究協議会の経過（平成11年度～14年度）

北海道教育委員会は、平成11年3月の高等学校学習指導要領の改訂に伴い、その趣旨の徹底を図るとともに、各学校の創意工夫を生かした教育課程の編成・実施に資するため、平成11年度から、各年度において「新教育課程編成の手引」を作成し、研究協議会を開催してきた。

各年度の手引の概要については、次のとおりである。

	手引の概要	説明及び協議の概要
平成 11 年 度	1 改訂の基本方針 2 主な改訂事項 (1) 目標について (2) A ホームルーム活動について B 生徒会活動について C 学校行事について 3 指導計画の作成と内容の取扱いに関する 配慮事項 4 質疑応答 ・ガイダンスの機能の充実について ・家庭や地域との連携について ・学校の創意工夫について ・特別活動の授業時数等について ・国旗及び国歌の取扱いについて ・部活動の取扱いについて	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動の性格及び指導の重点について ・必修クラブの廃止など、内容構成の見直しについて ・目標の「集団の一員」という表現が「集団や社会の一員」に改められたことについて ・ホームルーム活動の内容に「ホームルームや学校の生活への適応」が加えられたことについて ・生徒会活動の内容に「ボランティア活動など」が加えられたことについて ・学校行事でボランティア活動など社会奉仕の精神を養う体験などの充実が明示されたことについて ・学校生活への適応や人間関係の形成、教科・科目や進路の選択などの指導におけるガイダンスの機能の充実が大切であることについて ・国旗及び国歌に対する正しい認識をもたせ、それらを尊重する態度を育てることが大切であることについて
12 年 度	1 特別活動の目標について 2 特別活動の意義について 3 指導計画作成上の配慮事項について 4 ホームルームでの活動内容及びその指導に当たっての配慮事項について 5 総合的な学習の時間と特別活動との関連や相違について 6 国旗・国歌の取扱いについて 7 ボランティア活動や就業体験など体験的な活動の重要性について	<ul style="list-style-type: none"> ・目標において重視されていることがらについて ・特別活動において養うべき能力や態度について ・指導計画作成上の具体的な留意点について ・ホームルームの各活動内容における指導上の配慮事項について ・総合的な学習の時間と特別活動のそれぞれのねらいと相互の関連性について ・ボランティア活動や就業体験の意義と指導計画作成上の留意点について
13 年 度	1 特別活動の教育課程の編成 (1) 特別活動の構成 (2) 編成上の留意点 (3) 特別活動の授業時数 2 指導計画の作成 (1) 指導計画の作成に当たっての配慮事項 (2) 第1学年「ホームルーム活動」の指導計画例 3 評価の工夫 (1) 評価の基本的な考え (2) 評価方法の例 4 特別活動と総合的な学習の時間について	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動の教育課程を編成する際の留意点について ・指導計画の作成に当たって、学校の教育目標や指導の重点を生かした全体構想を明確化することの必要性について ・個々の生徒の活動状況とその成長・発達の評価、生徒の集団とその発達の評価、指導体制の評価が必要であることについて ・特別活動と総合的な学習の時間の実施に当たっては、それぞれの目標やねらいの相違などを踏まえて指導計画を作成することが重要であることについて ・総合的な学習の時間と特別活動が相互補完・相互還流的な関係であるべきことについて
14 年 度	1 特別活動の指導計画の作成 2 ホームルーム活動（指導上の留意点と展開例） 3 生徒会活動（指導上の留意点と展開例） 4 学校行事（指導上の留意点と展開例）	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の作成に当たっては、各教科・科目及び総合的な学習の時間との関連や特別活動の各内容相互の関連に留意することが大切であることについて ・ホームルーム活動の指導上の具体的な留意点について ・生徒会活動の指導上の具体的な留意点について ・学校行事の指導上の具体的な留意点について

2 ホームルーム活動の内容

(1) ホームルームや学校生活の充実と向上に関すること

この項目にかかわって行われる諸活動は、学校における生徒の基礎的な生活の場であるホームルームはもとより、学校における他の多様な集団生活の充実・向上を図る上で重要な役割を果たすものであり、具体的な活動内容として、次のような例が考えられる。

【具体的な活動及び題材例】

活 動	題 材 例
ア ホームルームや学校における生活上の諸問題の解決	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームルームの組織や係活動の円滑な運営 ○ホームルーム内における各成員の役割分担 ○ホームルーム内の好ましい人間関係 ○ホームルームの環境整備 ○生徒会活動や学校行事への参加や協力 ○教科・科目等の学習における成員相互の協力 ○個人とホームルームの関係
イ ホームルーム内の組織づくりと自主的な活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームルーム内の組織づくりと各成員の役割 ○自主的・自律的な活動と集団生活におけるルール ○ホームルーム生活の充実のための創意工夫
ウ 学校における多様な集団の生活の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○学校における多様な集団への参加や協力 ○集団生活及び社会生活上のルールとマナー ○集団における個人の責任と成員相互の協力

(2) 個人及び社会の一員としての在り方生き方、健康や安全に関すること

この項目にかかわって行われる諸活動は、生徒一人一人が人間としての在り方生き方について幅広く探求し、心身の健康の維持増進に努め、豊かな人間性や個性の伸長を図るとともに、社会の成員として必要とされる資質や能力を身に付ける上で重要な役割を果たすものであり、具体的な活動内容として、次のような例が考えられる。

【具体的な活動及び題材例】

活 動	題 材 例
ア 個人及び社会の一員としての在り方生き方に関すること。	
(ア) 青年期の悩みや課題とその解決	<ul style="list-style-type: none"> ○人生における青年期の意義 ○青年期の様々な悩みや課題とその解決 ○青年期の心理、心身の発達の特徴や発達課題
(イ) 自己及び他者の個性の理解と尊重	<ul style="list-style-type: none"> ○自己の個性や適性 ○他者の個性の理解と人間尊重の精神 ○自己の個性や能力の生かし方
(ウ) 社会生活における役割の自覚と自己責任	<ul style="list-style-type: none"> ○集団生活・社会生活におけるルールやマナー ○社会の一員としての義務と役割 ○自主的・自律的な生き方と自己責任
(エ) 男女相互の理解と協力	<ul style="list-style-type: none"> ○男女相互の理解と協力 ○人間の尊重と男女の平等 ○望ましい異性交友の在り方 ○男女共同参画社会の理解
(オ) コミュニケーション能力の育成と人間関係の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○自己表現とコミュニケーション能力 ○社会における様々な人間関係 ○社会生活におけるコミュニケーションと望ましい人間関係の確立

(カ) ボランティア活動の意義の理解	<ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉活動の意義 ○環境保全・保護活動の意義 ○災害援助活動の意義 ○地域のコミュニティづくりの意義 ○国際社会への貢献・協力
(キ) 国際理解と国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ○国際理解の必要性と国際交流の意義 ○国際協調と国際交流 ○国際社会に生きる主体的な日本人としての在り方 生き方
イ 健康や安全教育に関すること	
(ク) 心身の健康と健全な生活態度や習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○心身の健康状態の理解 ○生活習慣病とその予防 ○食事・運動・休養の重要性と余暇の活用 ○喫煙・飲酒・薬物乱用などの害とその予防 ○性情報への適切な対応と性の逸脱行動の防止 ○ストレスへの対処と自己管理
(ケ) 生命の尊重と安全な生活態度や習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○生命尊重の精神と態度 ○日常生活における危険の予測と防犯、防災意識 ○生活安全と交通安全の確保 ○自然災害等の災害時の安全確保 ○安全確保に配慮した環境整備

(3) 学業生活の充実、将来の生き方と進路の適切な選択決定に関すること

この項目にかかわって行われる諸活動は、生徒が現在及び将来の生き方を考え、進路希望の実現に向け、適切に行動することのできる態度や能力を身に付ける上で重要な役割を果たすものであり、具体的な活動として、次のような例が考えられる。

【具体的な活動及び題材例】

活 動	題 材 例
ア 学ぶことの意義の理解	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の個性や能力を伸ばす学習の工夫 ○将来の夢や希望の実現と学習の意義 ○職業選択と学習の意義
イ 主体的な学習態度の確立と学校図書館の利用	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら学ぶことの意義 ○学習方法の工夫・改善と望ましい学習習慣の確立 ○学校図書館等を利用した学習方法の工夫・改善
ウ 教科・科目の適切な選択	<ul style="list-style-type: none"> ○類型、系列、開講教科・科目の理解 ○進路希望と教科・科目の適切な選択 ○先輩の進路と教科・科目選択
エ 進路適性の理解と進路情報の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○自己の性格、職業的な能力・適性等の理解 ○効果的な進路情報の収集と活用の在り方 ○学ぶ制度と機会 ○職業調べ ○体験入学や就業体験活動の意義と成果
オ 望ましい職業観・勤労観の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○働くことの意義と目的 ○様々な職業と職業生活 ○就業体験等の意義の理解と成果
カ 主体的な進路の選択決定と将来設計	<ul style="list-style-type: none"> ○ライフプランの作成と進路計画の立案 ○高校卒業後の進路の検討 ○進路選択のスキルの獲得

3 指導展開例

(1) ホームルームや学校の生活の充実と向上に関する指導展開例

活動名	LHR (ロングホームルーム)「好ましい人間関係づくり」		
実施期日	平成15年○月○日 (○)	実施場所	1年1組教室
実施時間	6校時	対象	1年1組生徒40名
1 活動の目標			
集団の成員は、それぞれに多様な価値観をもっていることを理解させるとともに、価値観の相違を受容する態度を育て、好ましい人間関係づくりを促す。			
2 活動の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・集団における各成員の価値観の違いを乗り越えた好ましい人間関係づくりの大切さについての担任講話を行う。 ・「権力・名誉・愛情・学歴・健康・金銭・誠実さ」というキーワードを設定し、各自の意見の違いをもとに、グループディスカッションを行い、各グループの代表が感想を発表する。また、各自が感じたことを感想文にまとめる。その後、担任によるまとめを行う。 ※事前に各キーワードについて各自が優先順位やその理由を記入することができるワークシートを用意し、グループディスカッションに活用する。 			
3 全体計画			
1 ホームルームにおける好ましい人間関係づくりについての担任講話、次時の活動内容についての概要説明、グループ分け、司会や各グループの代表者等の役割の分担、ワークシートの配布及び記入 (1時間)			
2 前時に作成したワークシートを活用したグループディスカッション及び感想文の作成 (1時間:本時)			
3 前2時間の活動に関する担任によるまとめ、ホームルームの年間活動計画についての討議 (1時間)			
4 展開			
	活動内容	到達目標	評価の観点
導入 5分	1 内容と目標の確認	・活動内容と目標を十分に理解できる。	【関心・意欲・態度】 ・真剣に話を聞いているか。 【思考・判断】 ・ワークシートに記載した自分の価値観について、深く考察しているか。
	2 自分の価値観を見つめる ・前時に作成したワークシートを再度確認する。	・自分の価値観を再認識できる。	○教師の観察による評価 ・話を聞く態度 ・取り組む態度
展開 35分	3 グループディスカッション ①グループ(4人)で集まる。 ・他のメンバーの優先順位を書き写す。 ・各項目ごとに自分と他のメンバーとの優先順位の違いを確認する。 ・メンバーごとに違いの合計を計算する。 ②話し合い ・お互いの意見を交換する。 ・各自が話し合いで感じたことを書く。	・意見交換を通して、他のメンバーとの価値観の相違を認識できる。 ・他のメンバーの意見に謙虚に耳を傾け、尊重できる。 ・自分の考えを論理的に表現することができる。	【関心・意欲・態度】 ・積極的に活動に参加しているか。 ・他者の意見に謙虚に耳を傾けることができるか。 ・司会者や代表者など、各自が自らの役割を十分認識して活動に臨むことができるか。 【思考・判断】 ・他者の意見を聞いて、自分自身の価値観を客観的に考えることができるか。 【技能・表現】 ・自分の考えを論理的に表現することができるか。 【知識・理解】 ・好ましい人間関係づくりと、自分とは違う個性や価値観を認め合うことの大切さについて理解できるか。
	4 シェアリング(分かち合い) ・各班の代表は、班の話し合いの様子や自分の感想を述べる。	・自分の役割を果たしながら、協力して進めようとする自主的、実践的な活動ができる。	○教師の観察による評価 ・取り組む態度 ・話を聞く態度 ・生徒の表現内容 ※優先順位や合計は、ワークシートに記載する。 ※多数決をとらせたりはしない。あくまでも意見を尊重することを優先する。 ※話し合いの過程を大切ににする。 ※感じたことは、ワークシートに記載する。 ※本時は、奇数班の発表とする。(3分×5)
まとめ 10分	5 振り返り(感想文) ・活動前と活動後における気持ちの変化などに留意しながら、本時の感想を書く。	・価値観の違いを認め、お互いを尊重しあうことができる。	【関心・意欲・態度】 ・真剣に取り組んでいるか。 【思考・判断】 ・異なる価値観をもった人を受容しようとしているか。
			○教師の観察による評価 ・取り組む態度 ○振り返りの感想文の評価 ・生徒の振り返りの内容 ※感想文が未完成の者は、後日完成させて提出させる。 ※感想文には担任がコメントを添え、各生徒に返却する。

(2) 個人及び社会の一員としての在り方生き方に関する指導展開例

活動名	LHR (ロングホームルーム)「社会生活上のルールとマナー」			
実施期日	平成15年〇月〇日 (〇)	実施場所	3年1組教室	
実施時間	6校時	対象	3年1組生徒40名	
1 活動の目標				
社会生活上のルールやモラルの意義について考えさせるとともに、正義感や公正さを重んじる心、自律・自製の心などの大切さについて理解させる。				
2 活動の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の使用マナーや乗車マナーについてのアンケート (生徒及び地域住民対象) の集計結果をもとに、各ホームルームの各班において意見交換を行う。また、班としての意見をまとめ、次時に意見発表を行う。 ※班としての意見をまとめる際には、新聞記事、図書、インターネット等を活用し、班独自の調査研究活動を行う。発表時には、発表資料を準備する。 ・各班の意見発表後に、自己評価と各自の活動のまとめを行う。その後、担任によるまとめを行う。 				
3 全体計画				
1 携帯電話の使用にかかわるマナー及びバス・列車の乗車マナーについてのアンケートの実施 ※アンケートの作成・実施・集計は放課後等の時間を活用し、生活委員会が行う。				
2 担任による活動の概要説明、班編成(各班8名)、アンケート結果の考察、新聞等の資料研究、各班における意見交換及び班の意見のまとめ、発表時の資料作成、司会者、発表者、タイムキーパー等の役割分担 (2時間)				
3 各班の意見発表 (1班～3班) (1時間)				
4 各班の意見発表 (4班～5班)、各自のまとめと自己評価、担任によるまとめ (1時間 本時)				
4 展開				
	活動内容	到達目標	評価の観点	評価方法等
導入 5分	1 前時までのまとめ	・活動への興味・関心、意欲を高めることができる。	【関心・意欲・態度】 ・真剣に話を聞いているか。	○教師の観察による評価 ・前時のまとめを聞く態度
展開 40分	2 4班の意見発表 ①意見発表9分 ・現状の認識 ・批判に対する考え ・課題意識 ・望ましい在り方 ②反対意見3分 ③賛成意見3分	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の使用マナーや乗車マナーについての意見交換を通して、社会生活上のルールやマナーについて考えることができる。 ・携帯電話の使用マナーや乗車マナーについての意見交換を通して、自由と責任、権利と義務などの関連について考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関心・意欲・態度】 ・積極的に活動に参加しているか。 ・他者の言葉に謙虚に耳を傾けることができるか。 ・司会、発表、賛成・反対意見発表など、各自が自らの役割を十分認識して活動に望むことができるか。 【思考・判断】 ・アンケートの結果等を社会生活上のルールやモラルにかかわる問題に結びつけて考えることができるか。 ・アンケートの結果等を自由と責任、権利と義務などと関連付けて考えているか。 【技能・表現】 ・自分の考えを論理的に表現することができるか。 【知識・理解】 ・携帯電話の使用マナーや乗車マナーについての課題や望ましい行動について理解できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教師の観察による評価 ・意見発表の内容 ・意見発表の方法 ・意見発表の態度 ・意見発表を聞く態度 ・反対・賛成意見発表への参加態度 ○作成資料の評価 ・意見発表時の資料の内容 ○相互評価票の評価 ・生徒による相互評価の結果
	3 5班の意見発表 ①意見発表9分 ・現状の認識 ・批判に対する考え ・課題意識 ・望ましい在り方 ②反対意見3分 ③賛成意見3分	<ul style="list-style-type: none"> ・自分とは違う他人の意見に耳を傾けるとともに、自分の意見を積極的に発言することができる。 ・各自が、集団内の役割を認識し、適切にその役割を果たすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関心・意欲・態度】 ・積極的に自己評価等の活動に取り組むことができるか。 【思考・判断】 ・アンケート結果や意見交換を自分自身の生活と結びつけて考えることができるか。 【技能・表現】 ・自分の考え等を適切に文章で表現することができるか。 【知識・理解】 ・携帯電話の使用マナーや乗車マナーについての課題や望ましい行動について理解できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ※反対意見及び賛成意見は発表班以外の生徒が自主的に発言する。 ※各生徒が相互評価票により意見発表を評価する。 ※司会者及びタイムキーパーは生徒が担当する。
	4 各自のまとめと自己評価 ①個人としての意見 ②活動への参加態度の自己評価 ③活動の感想 ④決意	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の使用や列車乗車時のマナーについて自分自身の問題として考えることができる。 ・自らを客観的に見つめ、向上への積極的な態度をもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関心・意欲・態度】 ・積極的に自己評価等の活動に取り組むことができるか。 【思考・判断】 ・アンケート結果や意見交換を自分自身の生活と結びつけて考えることができるか。 【技能・表現】 ・自分の考え等を適切に文章で表現することができるか。 【知識・理解】 ・携帯電話の使用マナーや乗車マナーについての課題や望ましい行動について理解できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教師の観察による評価 ・自己評価票記入の態度 ○自己評価票の評価 ・自己評価票の内容
	まとめ 5分	5 担任によるまとめ ①活動の状況への評価 ②望ましいマナーの在り方についての講話	・担任によるまとめや講話と自分の考えを比較して考察を深めることができる。	【関心・意欲・態度】 ・真剣にまとめを聞き、自分の考えとの違いをから問題をより深く理解しようとしているか。

(3) 学業生活の充実、将来の生き方と進路の適切な選択決定に関する指導展開例

活動名	LHR (ロングホームルーム)「主体的な学習態度の確立」			
実施期日	平成15年〇月〇日 (〇)	実施場所	2年1組教室	
実施時間	6校時	対象	2年1組生徒40名	
1 活動の目標				
将来の夢や希望の実現を目指した学習の計画を立てさせることにより、主体的に学習に取り組む態度や能力を養う。				
2 活動の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・進路希望の実現に向けた夏季休業中の学習の大切さについての担任講話及び卒業生の受験体験記の紹介を行う。 ・各自が夏季休業中に重点的に取り組もうとする学習の具体的な計画を作成する。 ※各自が重点的に取り組む学習内容とその理由、学習の日程、時間、場所、必要な参考書等が書き込めるワークシートを作成し、活用する。 ・工夫された計画例を全生徒に紹介する。 ・提出された計画書に担任がコメントを記入して返却する。 				
3 全体計画				
<ol style="list-style-type: none"> 1 現在までの成績等が記載された学習記録カードの配布 (前日) 2 これまでの定期考査や模擬試験、資格取得等の状況に基づいた各自の学習上の課題の明確化 (前日 家庭における課題) 3 担任講話、卒業生の受験体験記の紹介、夏季休業中の学習計画の作成、工夫された計画案の紹介 (1時間 本時) 				
4 展開				
	活動内容	到達目標	評価の視点	評価方法等
導入 20分	<ol style="list-style-type: none"> 1 担任講話 <ul style="list-style-type: none"> ・進路実現のための夏季休業中の学習の大切さについて担任が講話を行う。 2 受験体験記の黙読 <ul style="list-style-type: none"> ・大学入試や就職試験に合格した卒業生の受験体験記を黙読する。 3 感想の発表 <ul style="list-style-type: none"> ・挙手または担任の指名により感想を発表する。 ・担任が感想にコメントを加える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路実現に向けた夏季休業中の学習の大切さについて理解できる。 ・現在の自分の学習方法や学習態度について客観的に考えることができる。 ・自らの日常の学習習慣について考え、今後の学習に明確な指針を持つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関心・意欲・態度】 <ul style="list-style-type: none"> ・担任や他の生徒の発表に真剣に耳を傾けているか。 ・卒業生の体験記を真剣に読んでいるか。 【思考・判断】 <ul style="list-style-type: none"> ・自らの学習習慣について真剣に振り返り、改善の意欲を持つことができるか。 【技能・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを適切に述べることができるか。 【知識・理解】 <ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業が進路実現のための学習の貴重な機会であることが理解できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教師の観察による評価 <ul style="list-style-type: none"> ・講話を聞く態度 ・受験体験記を読む態度 ・感想発表の内容 ・感想発表の態度 ・感想発表を聞く態度 ※生徒の発表内容に対しては、共感的態度でコメントする。
展開 25分	<ol style="list-style-type: none"> 4 「私の夏 向上プラン」の作成 <ol style="list-style-type: none"> ①担任がワークシートを配布し、記入上の留意事項等について説明する。 ②夏季休業中に重点的に取り組みたい学習とその理由を記入する。 ③夏季休業中の学習に必要な参考資料、活用可能な地域の施設等を記入する。 ④夏季休業中の学習について日程、時間、学習の方法等を具体的に考え、記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の将来の夢や希望について考えることができる。 ・自分の学習状況を客観的に振り返り、課題を明確化することができる。 ・夏季休業中の学習に明確な目的意識を持つことができる。 ・夏季休業中の学習に必要なことについて具体的に考えることができる。 ・夏季休業中の学習について、日程、時間、学習の方法などの具体的な計画を立てることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関心・意欲・態度】 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記入などに真剣に取り組んでいるか。 【思考・判断】 <ul style="list-style-type: none"> ・自らの進路希望を明確化することができるか。 ・進路希望と結びつけて、具体的な学習計画を立案する事ができるか。 ・自分の学習の状況にあった目標を設定することができるか。 ・自分の学習状況にあった教材や学習方法を選択することができるか。 【技能・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・有効に活用することが可能なワークシートを作成することができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教師の観察による評価 <ul style="list-style-type: none"> ・説明を聞く態度 ・ワークシート作成に取り組む態度 ○ワークシートの評価 ※重点的に取り組みたい学習は2項目程度に絞って実施する。 ※学校図書館や進路指導資料室における活用可能な図書類の一覧や地域の利用可能な教育施設の一覧を作成し、配布する。 ※適宜、机間巡視を行い、アドバイスを与える。
まとめ 5分	<ol style="list-style-type: none"> 5 本日の活動の趣旨の確認 6 優れた計画の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・工夫された計画について数例、紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の自分の取組を振り返り、適切な自己評価を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関心・意欲・態度】 <ul style="list-style-type: none"> ・担任の話を真剣に聞くことができるか。 【思考・判断】 <ul style="list-style-type: none"> ・工夫された計画例と自己の作成した計画を比較し、計画の改善に役立てることができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教師の観察による評価 <ul style="list-style-type: none"> ・まとめを聞く態度 ○ワークシートの評価 ※時間内にワークシートを完成できない場合は、次の日に提出させる。 ※後日、担任のコメントを記入し、全生徒に返却する。